



米子城

松江城

月山富田城

島根県

浜田城

広島県

郡山城

新高山城

福山城

津和野城

広島城

三原城

山口県

鳥取県

岡山県

# 64 松江城

--- 100名城 ---

2020.8.03



別名：千鳥城

松江城のみどころは125年ぶりに復元された櫓3棟です(下記載)。  
かつては二ノ丸に御門・東の櫓・太鼓櫓・中櫓・南櫓・御月見(つきみ)櫓があった。

FB - 068

## 天守台石垣の人柱伝説

天守台石垣が何度も崩れ落ち、**人柱**がなければ工事は完成しないと、工夫・祈祷の間からの意見で人柱が実施されたとの伝説がある。  
盆踊りの上手な娘・息子の士官を条件に志願した虚無僧・尺八を吹く虚無僧を捕まえて人柱 等々



●古写真(松江市蔵)



**包板(つつみいた)** 天守を支える柱に、一面~四面に板を張って、鋸(かすがい)や鉄輪(かなわ)で留められているものが「包板(つつみいた)」と呼ぶ。総数308本の柱のうち130本あり、割れ隠しなど不良材の体裁を整えるためのものと考えられている。



**石垣** 「野面積み」と「打ち込み接」(全体の6割)という石積み手法。石垣積工事は、築城全体の半分以上の労力を要する。松江城は5年間で完成しましたが、そのうちの3年間で石垣に費やした。



**3基の櫓の復元(H13年)**  
太鼓櫓; 太鼓を打って時刻を知らせる  
中櫓; 御貝足蔵と呼ばれた、  
南櫓; 南東方面を監視するための2階建



# 65 月山富田城

がっさん とだ じょう

--- 100名城 ---

2020.8.03



1185年、佐々木義晴が出雲の守護として入城以来427年間この出雲の国を治めていた。  
この居城(月山184m)は1396年~1566年(戦国時代)には山陰の覇者尼子氏が本拠を構え、170年間の尼子氏六代の盛衰の舞台となったお城。天然の地形を利用した、最も**難攻不落**の**要塞城**といわれ「**天空の城**」とも呼ばれていた。



別名: 富田城、月山城、富田月山城

この山全体が一つのお城で広大な敷地に圧倒されます。山中御殿の下の方まで車で行けたのでラッキーでした。と思いきや、七曲がりの急な坂には何度も休憩しながら登城しました。(実際は七曲がりではなくもっとあったように思います。

頂上部の三の丸から本丸は眺望は抜群でした。ただ残念なのが、自撮り写真データを整理中に消去したらしく残念です。



塩谷からの撮影



広大な敷地跡



古絵図

月山富田城のジオラマ模型

# 66 津和野 城跡

--- 100名城 ---  
2020.8.04



別名：[戦国時代まで]三本松城 (or 一本松城)

津和野盆地の霊亀山 (標高367m) に築かれた山城。築城時から戦国時代までは三本松城 (又は一本松城) と呼ばれており、尾根伝いに南にある出城の中荒城 (なかあらいじょう)、当城と併せて史跡指定されている。



この日の朝、米子城を觀て・浜田城を觀て、午後4時前に何とか津和野城登城リフトに到着し、いよいよと思ったのですが、残念なことにリフトは4時半最終で私は4時には乗れるのですが帰りが間に合いません (觀て廻ると最低1.5H必要)。見学は機会があればリベンジしたいと思いつつパンフレットをもらい、名城スタンプ押印し、城跡碑での写真撮影を終え次の萩城に向かいました。

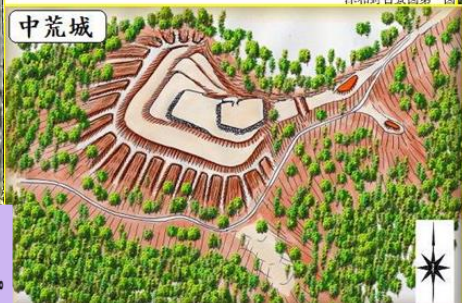
天空の津和野城跡



## グーグルMap



津和野百景図第一図



@石垣 さんぎつみ  
城内には整然とした算木積の石垣が累々と残っている。

# 170 浜田城跡

--- 続100名城 ---

2020.8.04



この浜田市の産業歴史を見ますと、1800年前後には、植林やたたら産業、石見半紙などの産業振興が図られたほか、外ノ浦、瀬戸ヶ島、長浜の港も発展しました。

ここでいうたたら産業とは製鉄産業のことで、製鉄法のことを「たたら製鉄」と呼ぶ。炉に空気を送り込むのに使われる**鞆**（ふいご）が「たたら」と呼ばれていたために付けられた名称で、製鉄法の総称でもある。

鞆も図会によると大人5~6人がかりで大層なものだった。



FB - 070

1620年に古田重治が築城、その後約250年間、浜田藩政の中心でしたが、1866年、長州軍の戦いで自焼退城という運命をたどっています。現在は石垣が残り、桜の名所として市民の憩いの場となっています。



たたら製鉄における踏み鞆による送風作業  
『日本山海名物図会』所載

## DigitalDaiku 2D城郭テータ (画像)



天守郭跡



司馬遼太郎の碑文

